

第2章 人口ビジョン

I 人口に関する現状分析

1 人口の推移

① 市の人口の推移

人口は、昭和40年以降、東京通勤圏としての宅地開発等が行われたことで、平成7年には58,172人まで人口が増加しました。しかし、その後人口減少に転じ、平成22年の国勢調査では若干増加したものの、令和7年10月の住民基本台帳人口では、48,498人まで減少しています。

年少人口¹は昭和55年の14,785人をピークに減少し、令和7年は4,185人となっており、平均すると毎年236人減少しています。

生産年齢人口²は、平成7年の42,456人をピークに減少し、令和7年は26,877人となっており、平均すると毎年約346人減少しています。

高齢者人口³は、昭和35年（1,456人）以降令和2年（17,743人）まで一貫して増加していましたが、令和7年には微減に転じ17,436人となっており、平均すると毎年約355人増加しています。

高齢化率⁴は昭和50年の5.5%から上昇し始め、令和7年は36.0%です。

昭和50年～平成12年は埼玉県と同じような推移となっていますが、それ以降は埼玉県よりも高い割合で推移しています。特に、平成27年度以降は、近隣市町と比べても高い割合となっています。

令和7年1月1日現在の高齢化率は、国内全体で29.4%、埼玉県全体で27.0%、幸手市で35.9%となっており、幸手市の高齢化率は、県内63市町村で12番目、県内40市で1番高い割合となっています。

¹ 0～14歳人口。

² 15～64歳人口。

³ 65歳以上人口。統計分野では「老年人口」と呼ぶ。

⁴ 総人口に占める高齢者人口の割合。

第2章 人口ビジョン

I 人口に関する現状分析

1 人口の推移

① 市の人口の推移

人口は、昭和40年以降、東京通勤圏としての宅地開発等が行われたことで、平成7年には58,172人まで人口が増加しました。しかし、その後人口減少に転じ、平成22年の国勢調査では若干増加したものの、令和7年10月の住民基本台帳人口では、48,498人まで減少しています。

年少人口¹は昭和55年の14,785人をピークに減少し、令和7年は4,185人となっており、平均すると毎年236人減少しています。

生産年齢人口²は、平成7年の42,456人をピークに減少し、令和7年は26,877人となっており、平均すると毎年約519人減少しています。

高齢者人口³は、昭和35年（1,456人）以降令和2年（17,743人）まで一貫して増加していましたが、令和7年には微減に転じ17,436人となっており、平均すると毎年約246人増加しています。

高齢化率⁴は昭和50年の5.5%から上昇し始め、令和7年10月1日現在で36.0%です。

昭和50年～平成12年は埼玉県と同じような推移となっていますが、それ以降は埼玉県よりも高い割合で推移しています。特に、平成27年度以降は、近隣市町と比べても高い割合となっています。

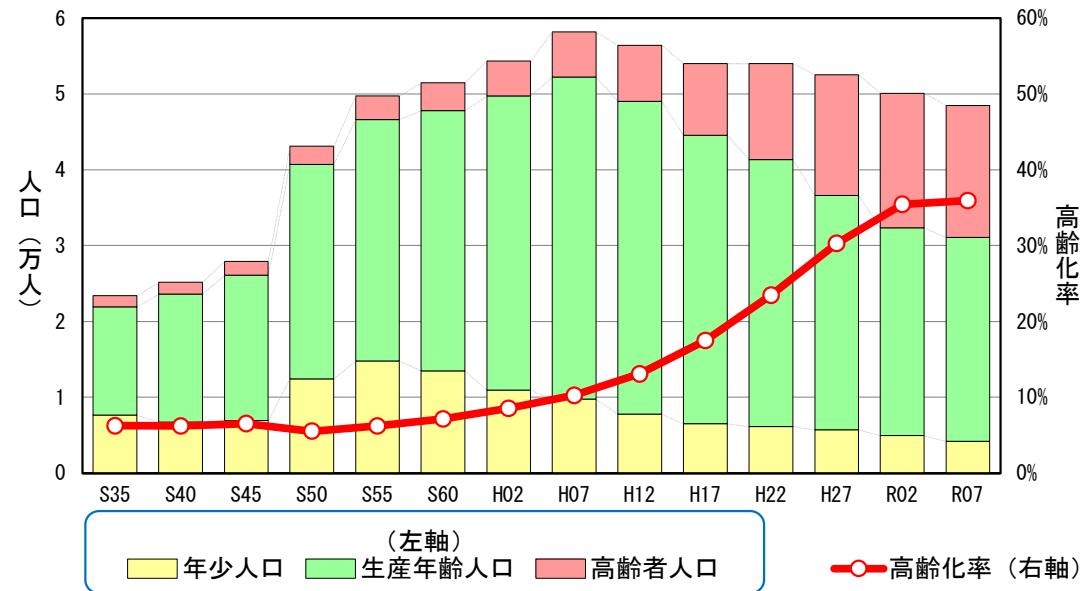
令和7年1月1日現在の高齢化率は、国内全体で29.4%、埼玉県全体で27.0%、幸手市で35.9%となっており、幸手市の高齢化率は、県内63市町村で12番目、県内40市で1番高い割合となっています。

¹ 0～14歳人口。

² 15～64歳人口。

³ 65歳以上人口。統計分野では「老年人口」と呼ぶ。

⁴ 総人口に占める高齢者人口の割合。

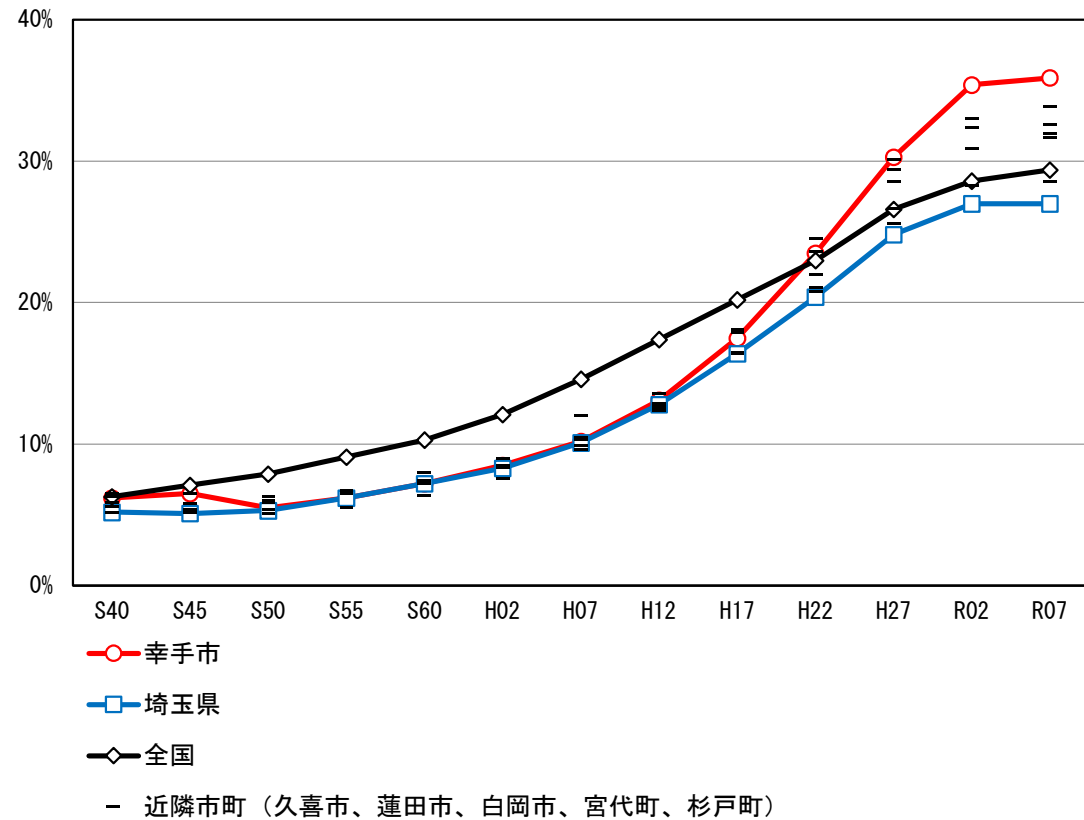


資料：埼玉県ツール※・令和7年のみ住民基本台帳人口（10月1日現在）

※埼玉県の市町村別将来人口推計ツールを使用。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/toukei-tool/jinko-tool.html>（最終閲覧日：令和7年10月31日）

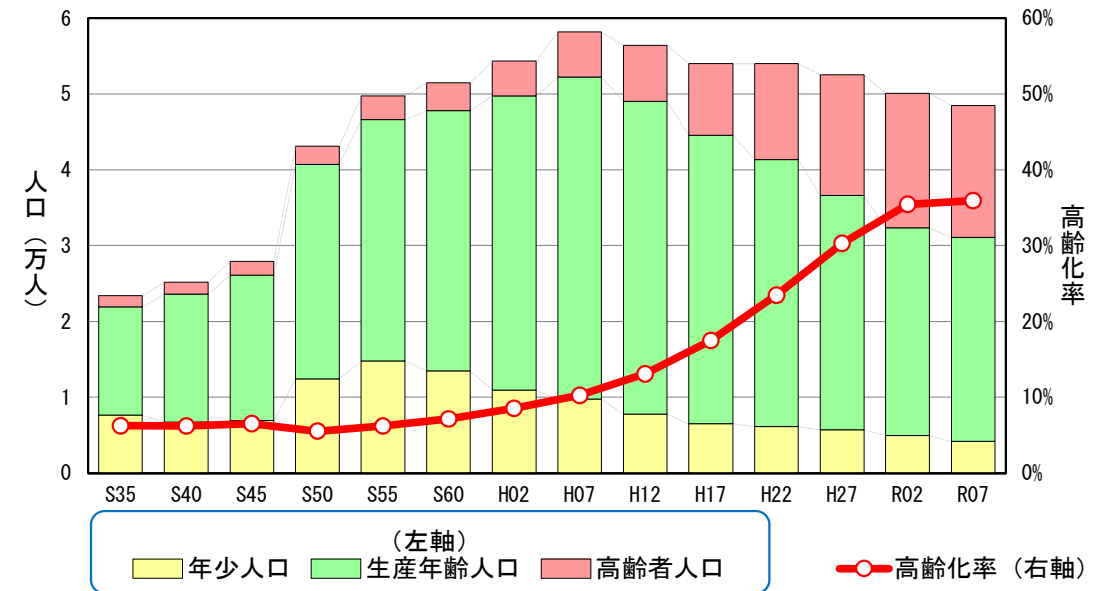
図3 人口及び世帯数の推移



資料：国勢調査／令和7年のみ住民基本台帳人口（1月1日現在）・国人口推計（9月15日現在）※

※総務省統計局トピックスから引用（<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1460.html>）
 【最終閲覧日：令和7年11月25日】

図4 高齢化率の推移

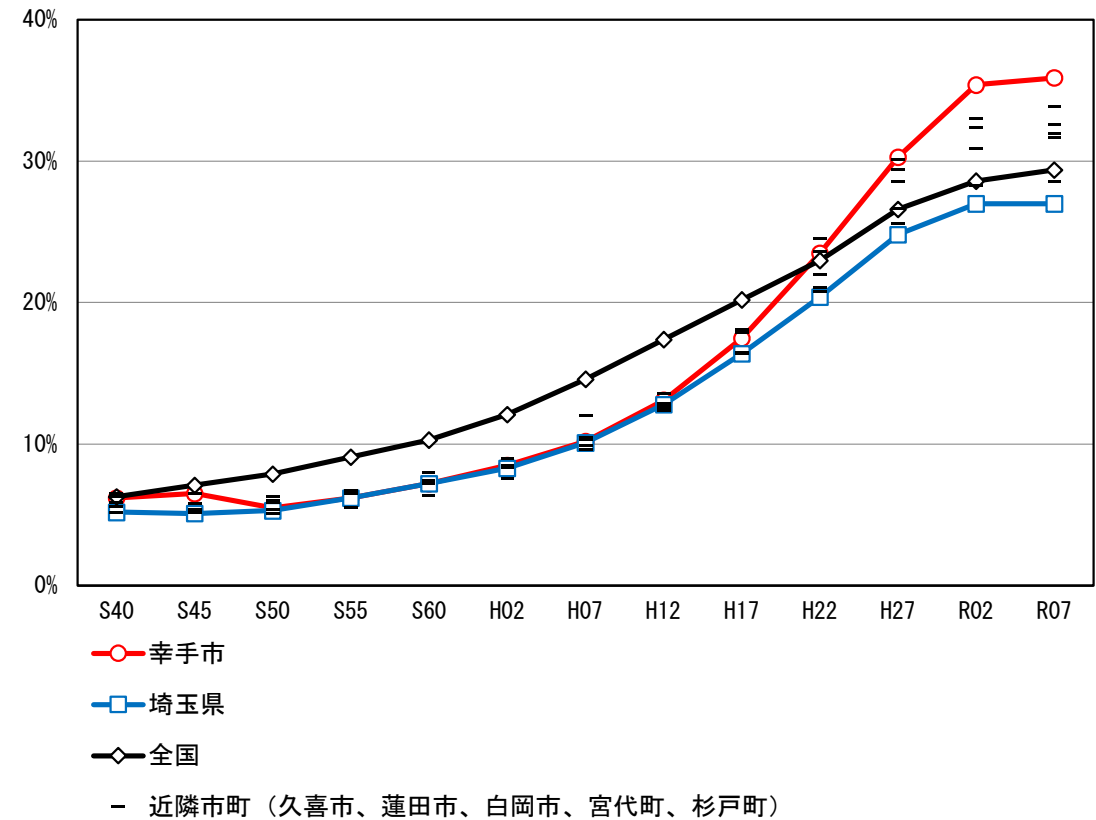


資料：埼玉県ツール※・令和7年のみ住民基本台帳人口（10月1日現在）

※埼玉県の市町村別将来人口推計ツールを使用。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/toukei-tool/jinko-tool.html>（最終閲覧日：令和8年1月23日）

図3 人口及び世帯数の推移



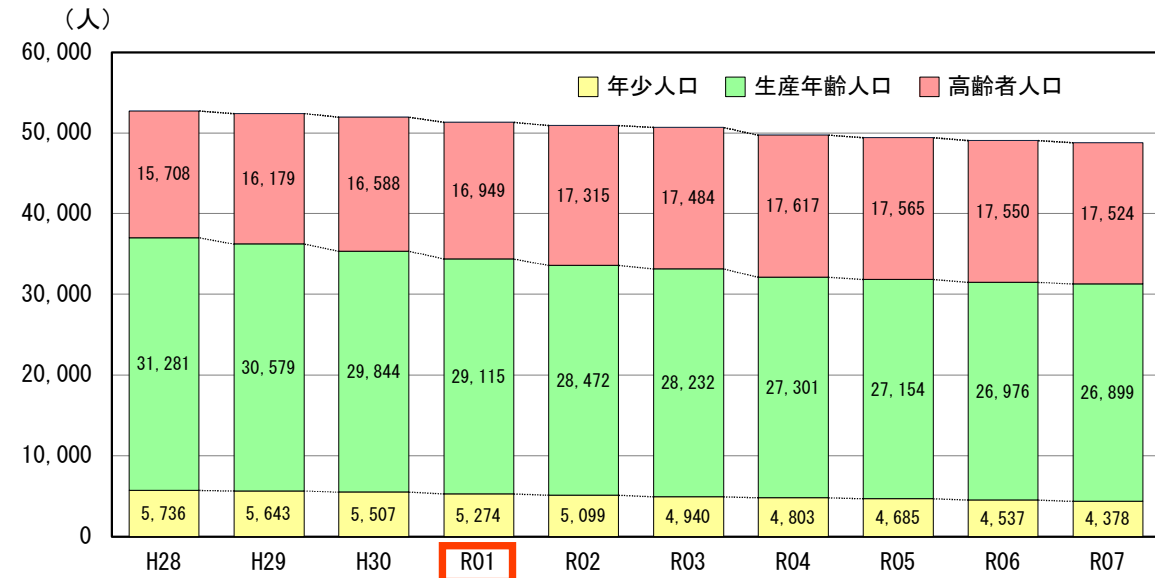
資料：国勢調査／令和7年のみ住民基本台帳人口（1月1日現在）・国人口推計（9月15日現在）※

※総務省統計局トピックスから引用（<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1460.html>）
 【最終閲覧日：令和8年1月23日】

図4 高齢化率の推移

② 直近10年間の総人口年齢3区分別人口の推移

平成28年以降の総人口年齢3区分別人口の人数の推移をみると、年少人口・生産年齢人口は減少傾向、高齢者人口は増加傾向で、少子高齢化が進んでいます。



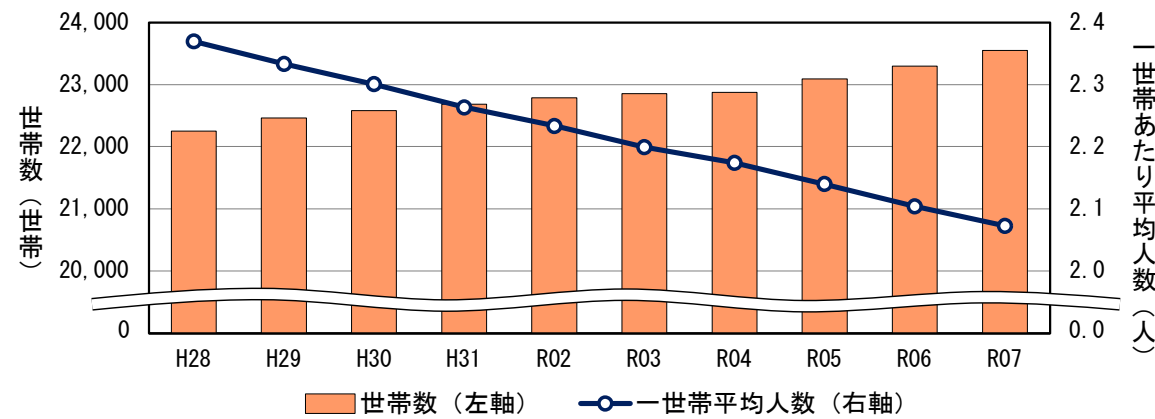
資料：住民基本台帳人口（各年1月1日時点）

図5 年齢3区分別人口の推移

③ 世帯数の推移

核家族化の進行や単身者世帯の増加により、世帯数は増加傾向である一方で、一世帯あたり平均人数は毎年減少しています。

特に単身者世帯の割合は、平成12年国勢調査の16.6%から令和2年国勢調査の29.3%へ増加している一方、5人以上の世帯は平成12年国勢調査の14.5%から令和2年国勢調査の5.6%へ減少しています。

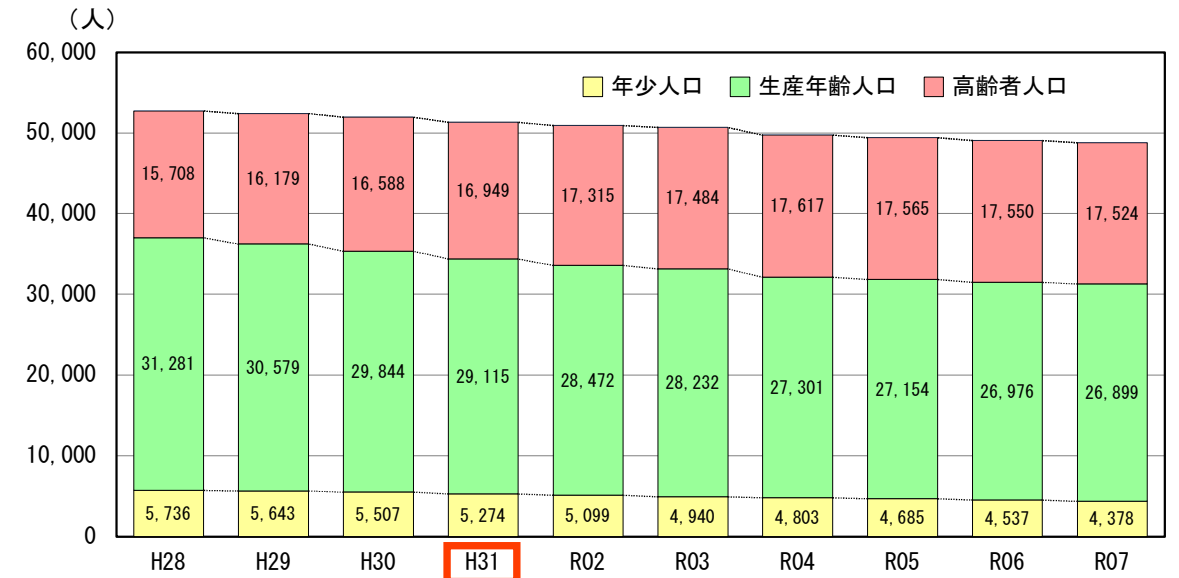


資料：住民基本台帳人口（各年1月1日時点）

図6 世帯数の推移

② 直近10年間の総人口年齢3区分別人口の推移

平成28年以降の総人口年齢3区分別人口の人数の推移をみると、年少人口・生産年齢人口は減少傾向、高齢者人口は増加傾向で、少子高齢化が進んでいます。



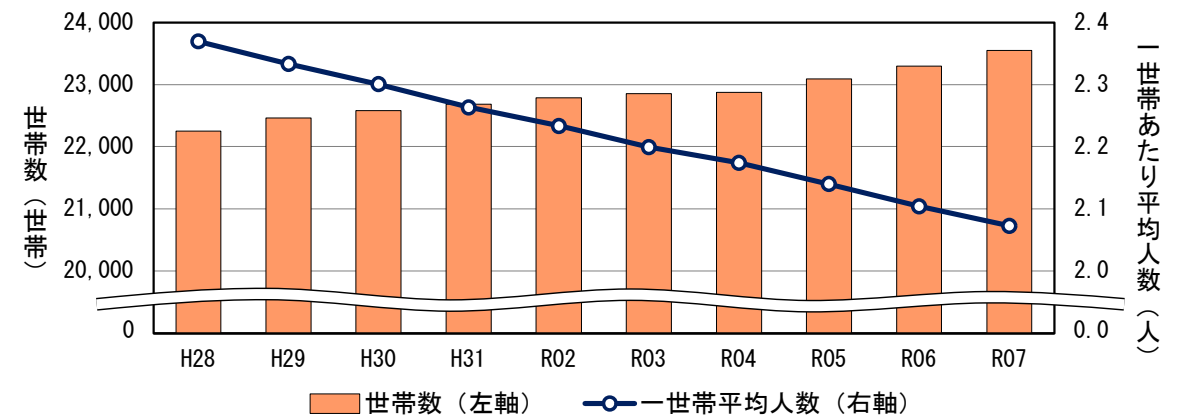
資料：住民基本台帳人口（各年1月1日時点）

図5 年齢3区分別人口の推移

③ 世帯数の推移

核家族化の進行や単身者世帯の増加により、世帯数は増加傾向である一方で、一世帯あたり平均人数は毎年減少しています。

特に単身者世帯の割合は、平成12年国勢調査の16.6%から令和2年国勢調査の29.3%へ増加している一方、5人以上の世帯は平成12年国勢調査の14.5%から令和2年国勢調査の5.6%へ減少しています。



資料：住民基本台帳人口（各年1月1日時点）

図6 世帯数の推移

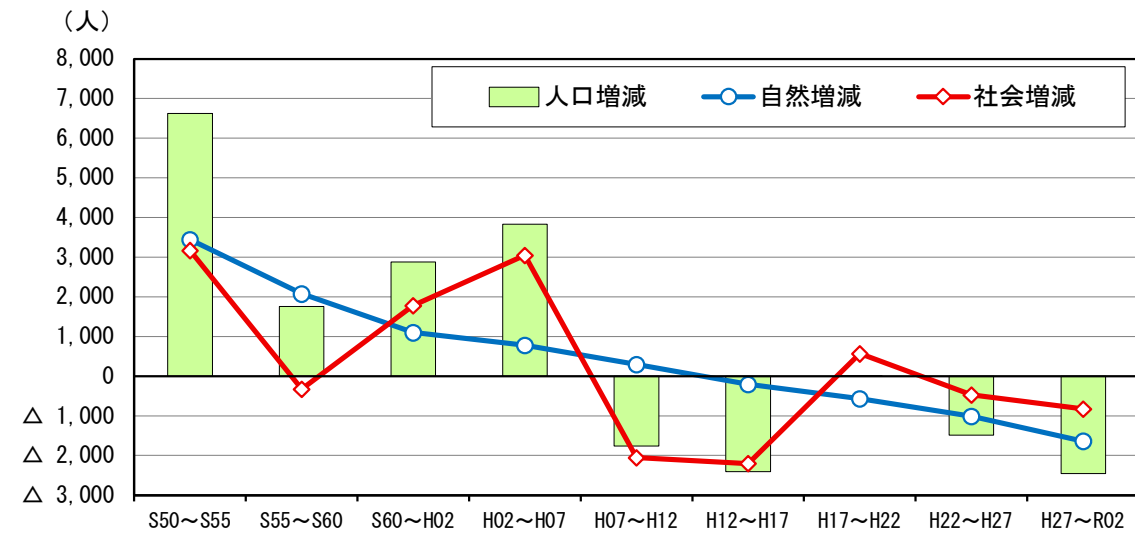
2 人口動態

人口動態は、大きく「自然動態⁵」と「社会動態⁶」に分けられます。

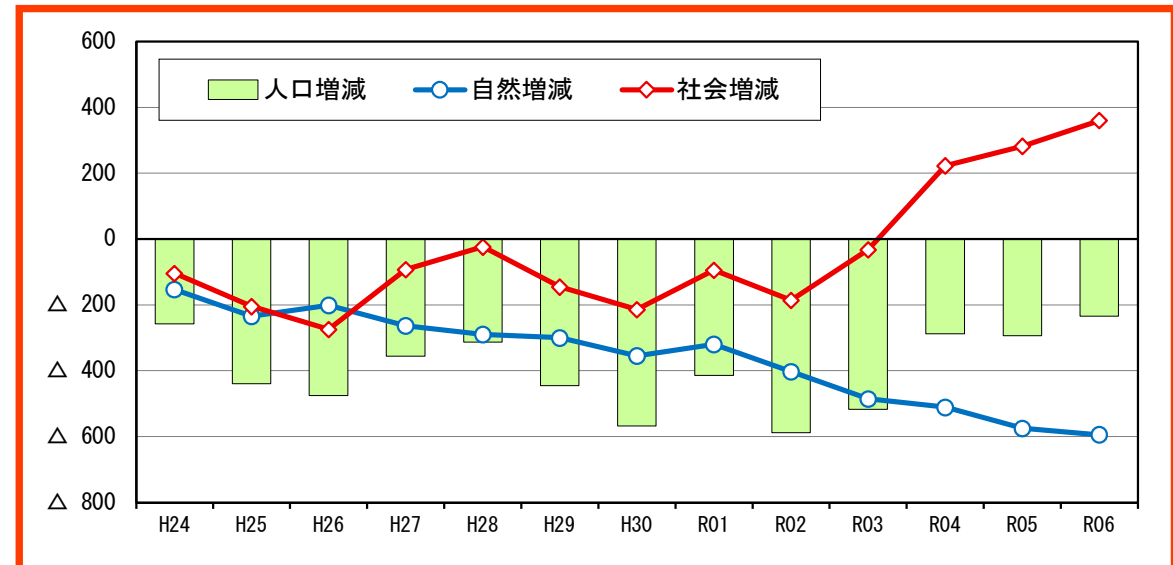
幸手市の国勢調査人口は、平成7年を境に、人口増から人口減となっています。

自然動態は、昭和50年以降一貫して減少しており、平成12年を境に自然増から自然減となっています。社会動態は、増減の振れ幅が大きいですが、平成7年を境に社会増から社会減の傾向となっています。

令和4年以降は、社会増に転じたものの、自然減の方が大きいため、依然として人口減少傾向となっています。



資料：国勢調査・埼玉県ツール



資料：統計さって

図 8 幸手市の人口動態の推移

⁵ 出生や死亡など生物学的要因による人口の変化。出生数から死亡数を引いた数。

⁶ 転入・転出といった、社会的要因による人口の変化。転入数から転出数を引いた数。

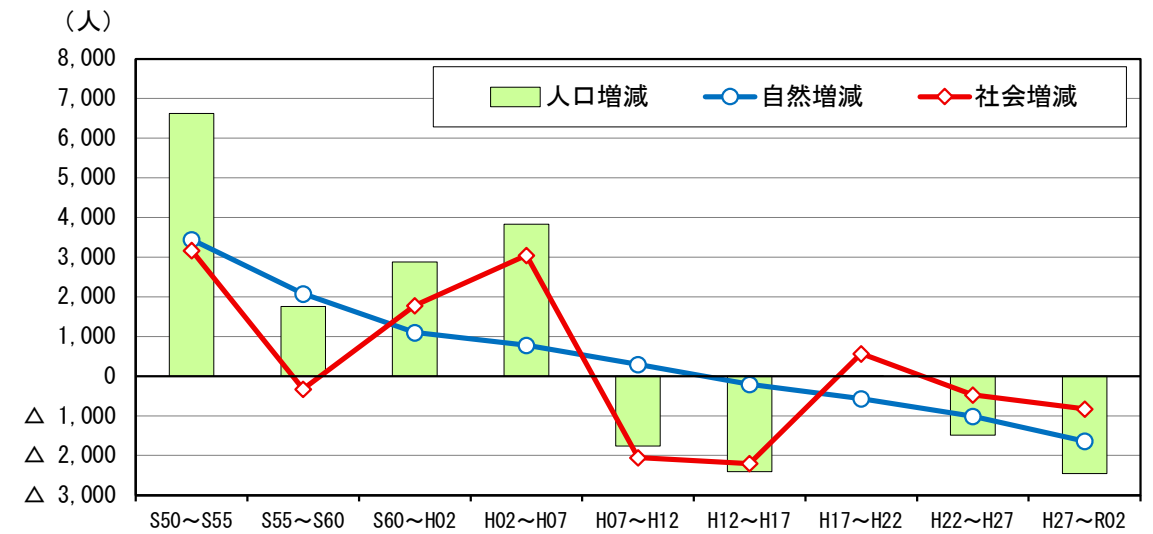
2 人口動態

人口動態は、大きく「自然動態⁵」と「社会動態⁶」に分けられます。

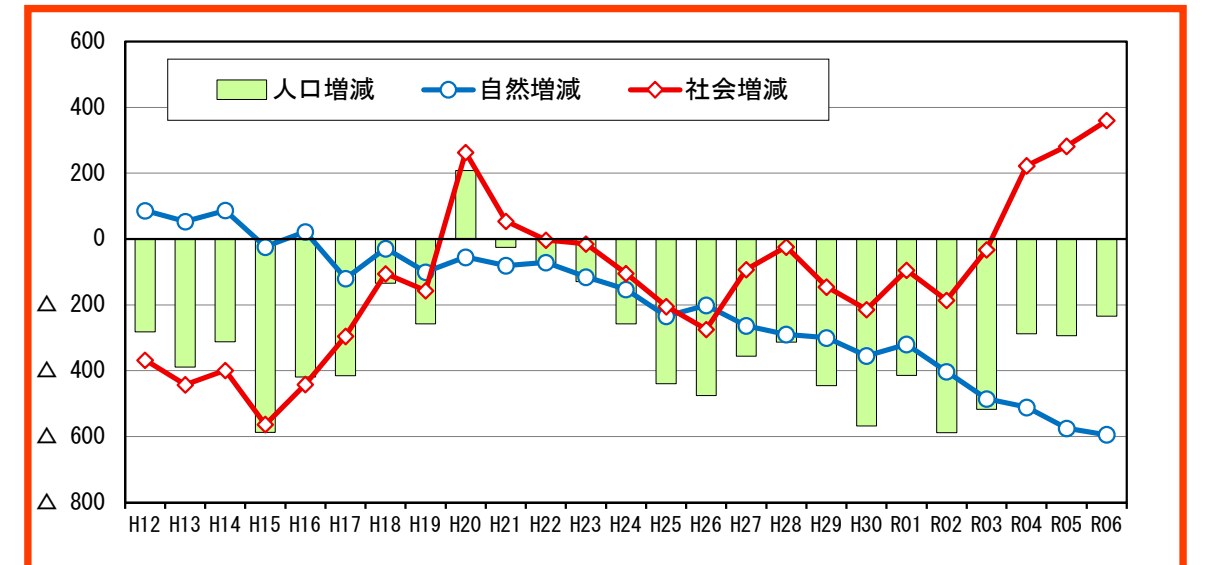
幸手市の人口は、平成7年を境に、人口増から人口減となっています。

自然動態は、一貫して減少傾向であり、平成15年を境に自然増から自然減となっています。社会動態は、増減の振れ幅が大きいですが、平成7年を境に社会増から社会減の傾向となっています。

令和4年以降は、社会増に転じたものの、自然減の方が大きいため、依然として人口が減少しています。



資料：国勢調査・埼玉県ツール



資料：統計さって

図 8 幸手市の人口動態の推移

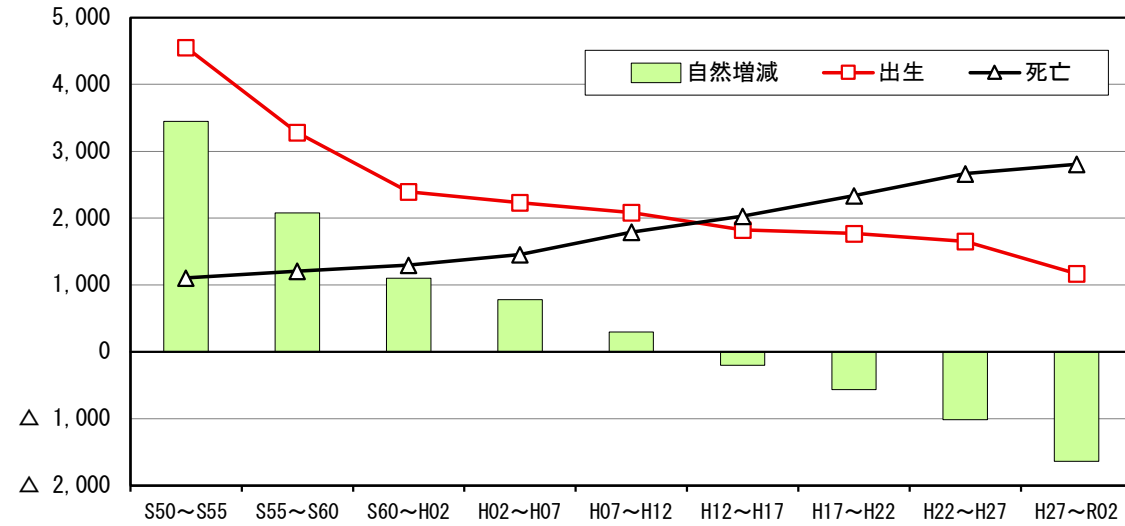
⁵ 出生や死亡など生物学的要因による人口の変化。出生数から死亡数を引いた数。

⁶ 転入・転出といった、社会的要因による人口の変化。転入数から転出数を引いた数。

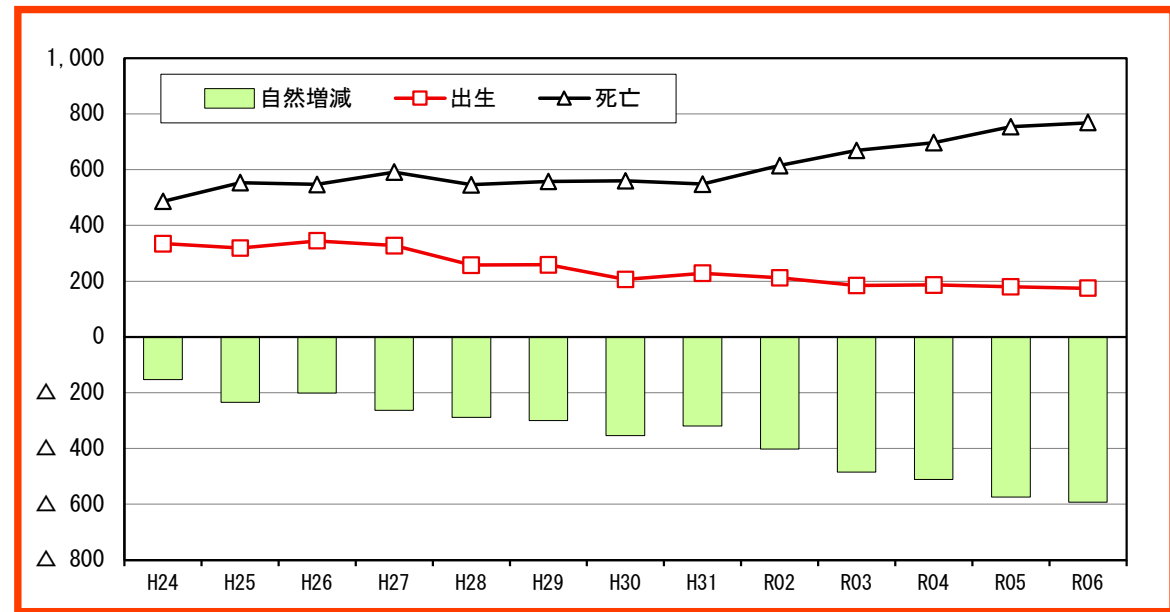
① 自然動態

自然動態は、平成12年を境に自然増から自然減に転じています。今後、人口の多い高齢者層（15ページ参照）の死亡数が増加すると予測される一方で、合計特殊出生率⁷が減少傾向であることから（12ページ参照）、出生数の減少は今後も続くことが予測されます。

このことから、自然減の傾向は今後も続くと思込まれます。



資料：国勢調査・埼玉県ツール



資料：統計さって

図 9 幸手市の自然動態の推移

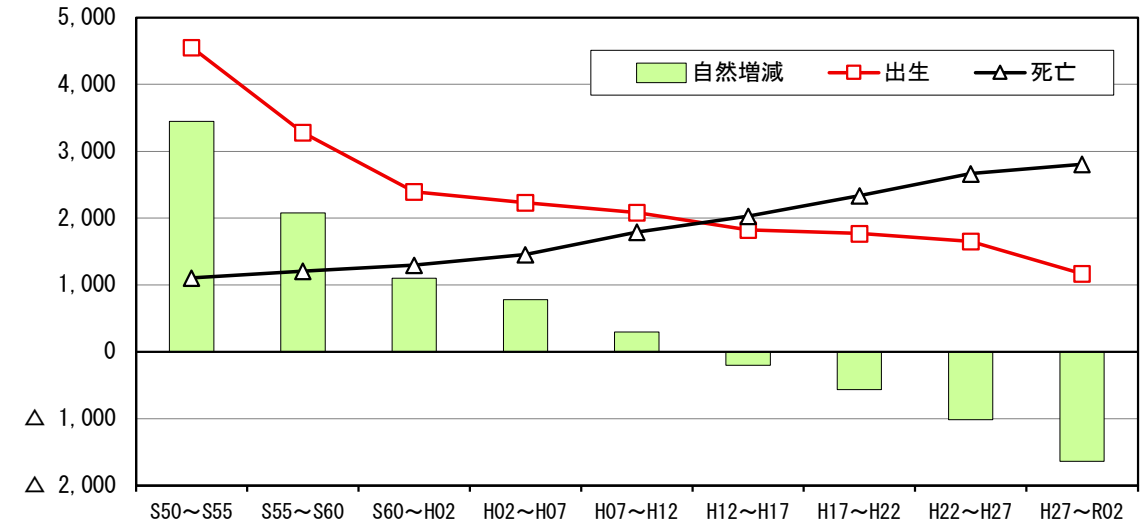
⁷ 一人の女性が生涯に何人の子供を産むかを推計したもので、15歳～49歳の女性の年齢別出生率を合計した数値。合計特殊出生率では、人口構成による影響（出産可能な年齢の女性の数が増えれば、女性1人当たりで生む子どもの数が減っている場合でも増加するなど）を排除して比較することができる。

※国勢調査人口ベースから住民基本台帳人口ベースに表記を変えました

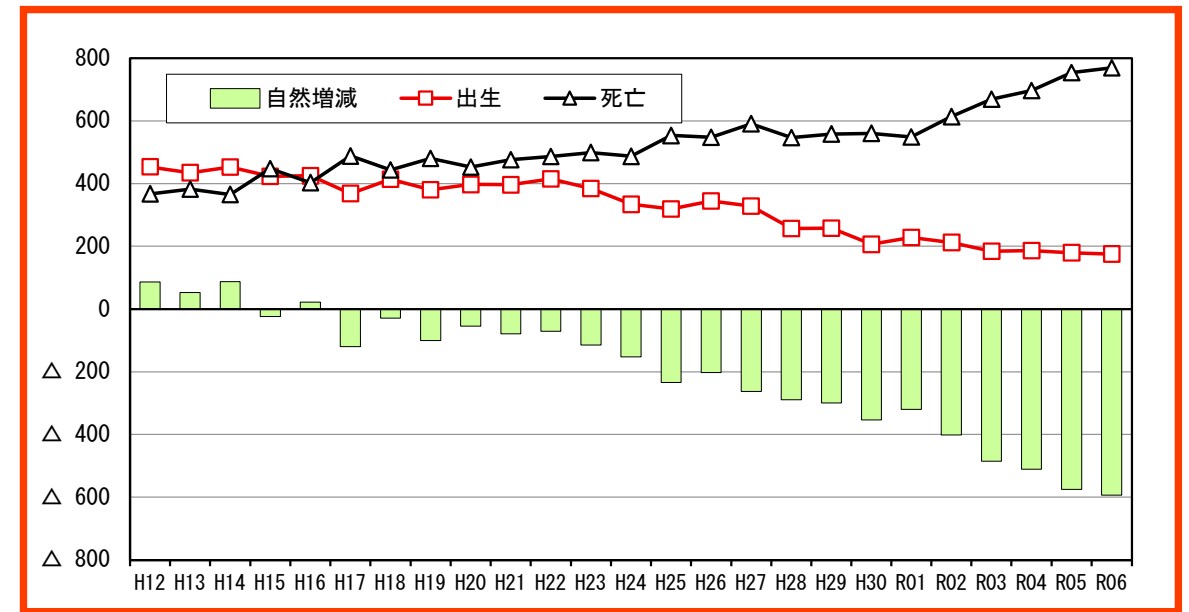
① 自然動態

自然動態は、平成15年を境に自然増から自然減に転じています。今後、人口の多い高齢者層（15ページ参照）の死亡数が増加すると予測される一方で、合計特殊出生率⁷が減少傾向であることから（12ページ参照）、出生数の減少は今後も続くことが予測されます。

このことから、自然減の傾向は今後も続くと思込まれます。



資料：国勢調査・埼玉県ツール



資料：統計さって

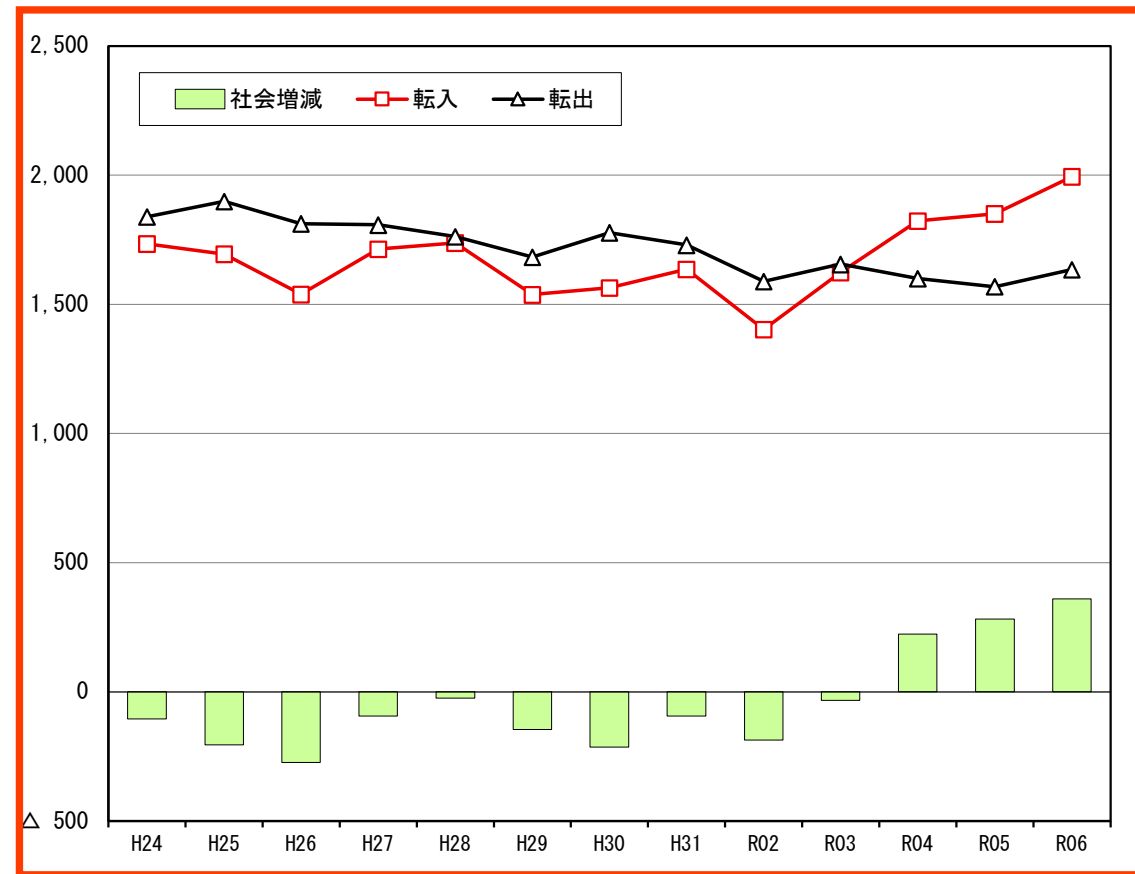
図 9 幸手市の自然動態の推移

⁷ 一人の女性が生涯に何人の子供を産むかを推計したもので、15歳～49歳の女性の年齢別出生率を合計した数値。合計特殊出生率では、人口構成による影響（出産可能な年齢の女性の数が増えれば、女性1人当たりで生む子どもの数が減っている場合でも増加するなど）を排除して比較することができる。

② 社会動態

社会動態は社会減（転出超過）が続いています。
 平成24年以降は、毎年数百人の社会減となっておりますが、令和4年以降は社会増（転入超過）に転じています。

これは、令和4年以降、近隣市町からの社会増が増えていることに伴うものと推測されます（14ページ参照）。



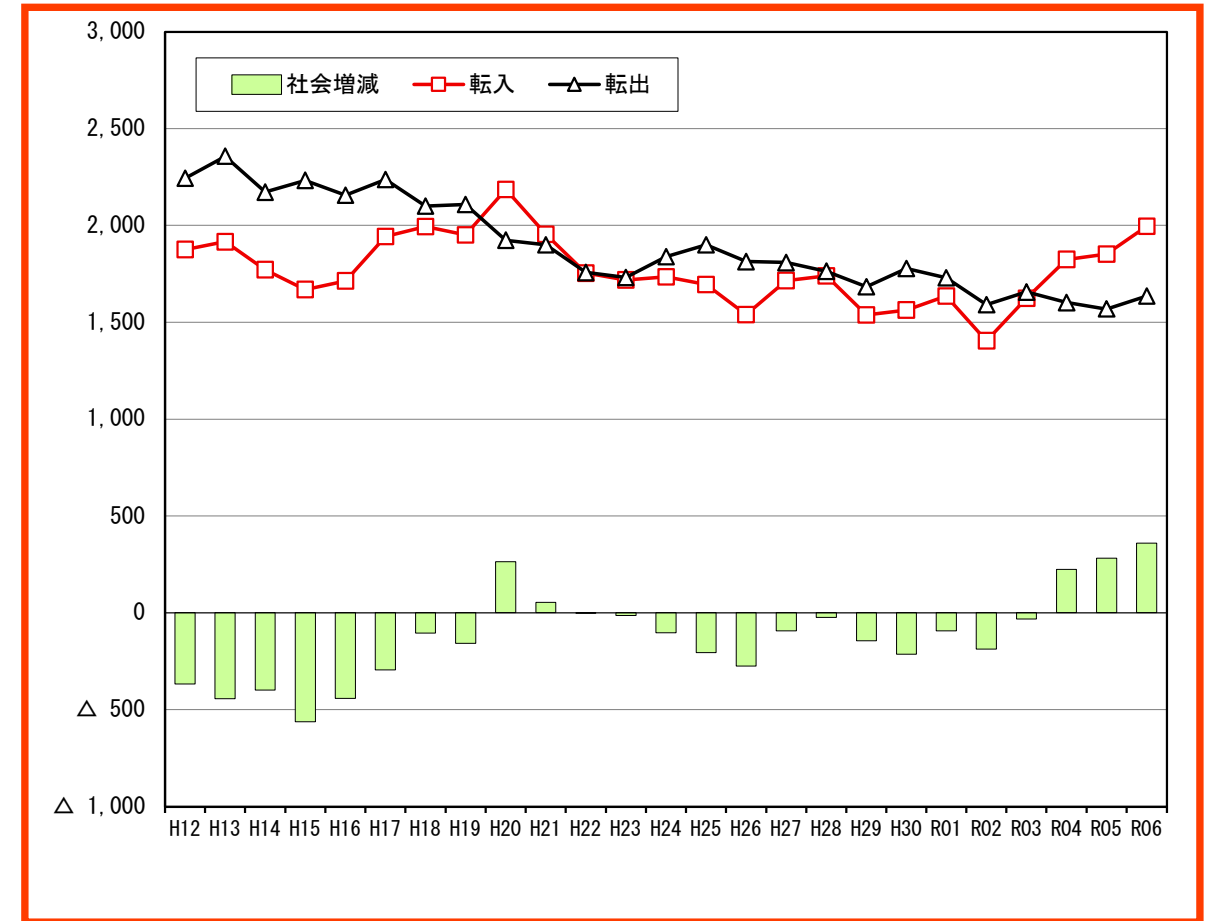
資料：統計さって

図 10 幸手市の社会動態の推移

② 社会動態

社会動態は平成8年以降、社会減（転出超過）となっておりますが、令和4年に社会増（転入超過）に転じ、社会増減数も上昇傾向です。

これは、令和4年以降、近隣市町からの社会増が増えていることに伴うものと推測されます（14ページ参照）。



資料：統計さって

図 10 幸手市の社会動態の推移

2 埼玉県の「第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

① 基本目標

埼玉県が令和7年3月に策定した「第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、5つの基本目標が掲げられています。

- 基本目標1 県内における安定した雇用を創出する～生産年齢人口減少期における経済活性化～
- 基本目標2 県内への新しいひとの流れをつくる～東京都区部への一極集中の克服～
- 基本目標3 県民の結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる～少子社会からの転換～
- 基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る～異次元の高齢化への挑戦～
- 基本目標5 デジタルの力を活用してまち・ひと・しごと創生を加速化・深化させる～社会全体のDX実現に向けて～

② 地域の特徴に基づく重点課題

「第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、幸手市が属する「利根地域」の課題として、次の5点が挙げられています。

- 低地市街地が多いため、台風などに対する防災・治水強化が必要である。
- 高齢化が急速に進んでおり、高齢者を支える体制の充実が必要である。
- 合計特殊出生率が県内でも低い水準で、20代の転出超過が多いため、雇用の創出や就業の支援が必要である。
- 地域資源を活かした魅力的な地域づくりをさらに進める必要がある。
- 交通利便性の高さを活かし、地域経済の活力を高め、若者・子育て世代の転入・定着促進を図る必要がある。

3 市民アンケートの分析

第3期幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたり、アンケート調査を実施しました（詳細はP.55 参考資料Ⅱ「アンケート調査について」を参照）。

ここでは、アンケート結果の分析を掲載します。

① 転入・転出のきっかけ

転入者には幸手市に転入したきっかけについて、転出者には幸手市から転出したきっかけについて、それぞれ質問しました。

その結果、「仕事の都合」が最も多く、次いで「住居の条件」「家庭の事情」が多くなっています。仕事関係（就職・異動・転職等）により転居を考える方が多いことが分かります。

2 埼玉県の「第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

① 基本目標

埼玉県が令和7年3月に策定した「第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、5つの基本目標が掲げられています。

- 基本目標1 県内における安定した雇用を創出する～生産年齢人口減少期における経済活性化～
- 基本目標2 県内への新しいひとの流れをつくる～東京都区部への一極集中の克服～
- 基本目標3 県民の結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる～少子社会からの転換～
- 基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る～異次元の高齢化への挑戦～
- 基本目標5 デジタルの力を活用してまち・ひと・しごと創生を加速化・深化させる～社会全体のDX実現に向けて～

② 地域の特徴に基づく重点課題

「第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、幸手市が属する「利根地域」の課題として、次の5点が挙げられています。

- 低地市街地が多いため、台風などに対する防災・治水強化が必要である。
- 高齢化が急速に進んでおり、高齢者を支える体制の充実が必要である。
- 合計特殊出生率が県内でも低い水準で、20代の転出超過が多いため、雇用の創出や就業の支援が必要である。
- 地域資源を活かした魅力的な地域づくりをさらに進める必要がある。
- 交通利便性の高さを活かし、地域経済の活力を高め、若者・子育て世代の転入・定着促進を図る必要がある。

3 市民アンケートの分析

第3期幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたり、アンケート調査を実施しました（詳細はP.57 参考資料Ⅱ「アンケート調査について」を参照）。

ここでは、アンケート結果の分析を掲載します。

① 転入・転出のきっかけ

転入者には幸手市に転入したきっかけについて、転出者には幸手市から転出したきっかけについて、それぞれ質問しました。

その結果、「仕事の都合」が最も多く、次いで「住居の条件」「家庭の事情」が多くなっています。仕事関係（就職・異動・転職等）により転居を考える方が多いことが分かります。

Ⅲ 第3期総合戦略の基本目標及び施策

基本目標1 安定した雇用を創出し、安心して働ける地域をつくる

【基本的方向】

若い世代の転出に歯止めをかけるためには、市内での雇用機会を拡充することが必要です。このため、市内企業への働きかけを行うとともに、市内事業者やふるさとハローワークなどとの連携により、安定した雇用の創出を目指します。

また、多様化する価値観やライフスタイル・ワークスタイルを踏まえ、誰もが働きやすい就業環境づくりへの取組に対し支援します。

さらに、本市を支える商工業者に対して、商工団体と協力し、商工業の活性化に向けた取組に対する支援を行い、地域農業に対しては、農業関係団体と連携し、農業経営に対する支援、担い手の育成など、安定した経営につながる支援を行うことで地域経済の活性化を図ります。

【数値目標】

項目名	当初値	目標値
市内従業者数	17,692 人	17,800 人

【関連するSDGs】



Ⅲ 第3期総合戦略の基本目標及び施策

基本目標1 安定した雇用を創出し、安心して働ける地域をつくる

【基本的方向】

若い世代の転出に歯止めをかけるためには、市内での雇用機会を拡充することが必要です。このため、市内企業への働きかけを行うとともに、市内事業者やふるさとハローワークなどとの連携により、安定した雇用の創出を目指します。

また、多様化する価値観やライフスタイル・ワークスタイルを踏まえ、誰もが働きやすい就業環境づくりへの取組に対し支援します。

さらに、本市を支える商工業者に対して、商工団体と協力し、商工業の活性化に向けた取組に対する支援を行い、地域農業に対しては、農業関係団体と連携し、農業経営に対する支援、担い手の育成など、安定した経営につながる支援を行うことで地域経済の活性化を図ります。

【数値目標】

項目名	当初値	目標値
市内従業者数	17,692 人 (令和4年度)	17,800 人

【関連するSDGs】



基本目標2 新しい人の流れをつくる

【基本的方向】

市内には、権現堂堤や日光街道幸手宿をはじめ、さまざまな観光・歴史・文化資源があります。

これらの資源を有機的につなげることにより、幸手市を訪れた人が、まちなかの回遊を楽しむことができる基盤を充実させ、交流人口の増加を図ります。

また、幸手市の魅力を効果的に発信するシティプロモーションを推進するとともに、地域資源を活かし、交流人口拡大に向けた観光振興やふるさと納税などをきっかけに幸手市と継続的に多様な形で積極的に関わる関係人口への発展、移住・定住促進に向けた取組を推進します。

【数値目標】

項目名	当初値	目標値
人口の社会増加数（令和7年4月からの累計）	0人	150人

【関連するSDGs】



基本目標2 新しいひとの流れをつくる

【基本的方向】

市内には、権現堂堤や日光街道幸手宿をはじめ、さまざまな観光・歴史・文化資源があります。

これらの資源を有機的につなげることにより、幸手市を訪れた人が、まちなかの回遊を楽しむことができる基盤を充実させ、交流人口の増加を図ります。

また、幸手市の魅力を効果的に発信するシティプロモーションを推進するとともに、地域資源を活かし、交流人口拡大に向けた観光振興やふるさと納税などをきっかけに幸手市と継続的に多様な形で積極的に関わる関係人口への発展、移住・定住促進に向けた取組を推進します。

【数値目標】

項目名	当初値	目標値
人口の社会増加数（令和8年1月からの累計）	0人	150人

【関連するSDGs】



施策1 幸手市の特性を活かした観光振興

主要な観光資源である権現堂堤、権現堂調整池（行幸湖）や日光街道幸手宿などの市内の名所、史跡と商店街、公園、幸手駅などを結ぶ観光ルートを有機的につなげ、交流人口の増加を目指します。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
権現堂堤年間観光客数（桜・あじさい・ひまわり・曼殊沙華・水仙まつり）	86.3 万人／年	100.0 万人／年
観光協会ホームページアクセス数	67 万件／年	70 万件／年
観光ガイド登録者数（3月末時点）	17 人	25 人

【取組内容】

- ① 観光シーズンにおける県営権現堂公園周辺道路の交通渋滞緩和対策
- ② 市内回遊型観光と市内経済効果のマッチング
- ③ 観光ガイドによる観光案内の充実
- ④ 「日光街道」をキーワードとした観光振興に向けた沿線自治体との連携
- ⑤ 幸手らしい個性と商品訴求力のある特産品の開発
- ⑥ 農産物直売所や観光情報をホームページ、SNS等を活用しPR
- ⑦ 道の駅等の整備による新しいひとの流れの創出
- ⑧ 旧吉田中学校木造校舎など歴史的な地域資源を観光資源として活用する取組



権現堂桜堤

施策1 幸手市の特性を活かした観光振興

主要な観光資源である権現堂堤、権現堂調整池（行幸湖）や日光街道幸手宿などの市内の名所、史跡と商店街、公園、幸手駅などを結ぶ観光ルートを有機的につなげ、交流人口の増加を目指します。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
権現堂堤年間観光客数（桜・あじさい・ひまわり・曼殊沙華・水仙まつり）	86.3 万人／年	100.0 万人／年
観光協会ホームページアクセス数	67 万件／年	70 万件／年
観光ガイド登録者数（3月末時点）	17 人	25 人

【取組内容】

- ① 観光シーズンにおける県営権現堂公園周辺道路の交通渋滞緩和対策
- ② 市内回遊型観光と市内経済効果のマッチング
- ③ 観光ガイドによる観光案内の充実
- ④ 「日光街道」をキーワードとした観光振興に向けた沿線自治体との連携
- ⑤ 幸手らしい個性と商品訴求力のある特産品の開発
- ⑥ 幸手市観光協会の社団法人化支援
- ⑦ 農産物直売所や観光情報をホームページ、SNS等を活用しPR
- ⑧ 道の駅等の整備による新しいひとの流れの創出
- ⑨ 旧吉田中学校木造校舎など歴史的な地域資源を観光資源として活用する取組



権現堂桜堤

施策2 移住・定住の促進

市内への移住・定住促進を図るため、移住・定住支援に関する補助、空き家を活用した移住支援を行います。

また、埼玉県や他市町村と連携し、移住促進のPRを行います。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
移住・定住補助事業による移住者数 (平成27年度からの累計)	239人	480人

【取組内容】

- ① 移住・定住支援に関する補助
- ② 空き家を活用した移住支援
- ③ 埼玉県や他市町村との連携による移住促進のPR



移住・定住イベントでのPR

施策2 移住・定住の促進

幸手市内への移住・定住促進をより一層PRし、移住・定住支援に関する支援、空き家を活用した移住支援を行います。

また、埼玉県や他市町村と連携し、移住促進のPRを行います。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
転入者数（令和8年1月からの累計）	0人	5,850人

【取組内容】

- ① 幸手市への移住・定住のPR及び支援
- ② 空き家を活用した移住支援
- ③ 埼玉県や他市町村との連携による移住促進のPR



移住・定住イベントでのPR

施策3 シティプロモーションの推進

幸手市の魅力を効果的に発信することで、幸手市に愛着を持ってもらい、地域に関わる人を増やし、関係人口及び移住・定住人口の増加を目指します。

具体的には、市ホームページでの情報発信のほか、イベントやふるさと納税等によるPR、SNSや現在作製中のシティプロモーション映画などを活用した魅力発信に取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
市ホームページの年間アクセス件数	70 万件/年	73 万件/年
ふるさと納税寄附金額	5,000 万円/年	15,000 万円/年
SNSフォロワー数（3月末時点）	8,682 アカウント	9,100 アカウント

【取組内容】

- ① スライダーなどを活用したホームページでの情報発信の充実
- ② イベント開催時の来訪者へのPR活動
- ③ ふるさと納税やイベント等を通じた関係人口増加への取組
- ④ SNS等を活用した市民参加型のまちの魅力の発信
- ⑤ シティプロモーション映画を活用した関係人口の創出



イベントにおいて幸手市をPR

施策3 シティプロモーションの推進

幸手市の魅力を効果的に発信することで、幸手市に愛着を持ってもらい、地域に関わる人を増やし、関係人口及び移住・定住人口の増加を目指します。

具体的には、市ホームページでの情報発信のほか、イベントやふるさと納税等によるPR、SNSや現在作製中のシティプロモーション映画などを活用した魅力発信に取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
市ホームページの年間アクセス件数	70 万件/年	73 万件/年
ふるさと納税寄附金額	5,000 万円/年	15,000 万円/年
SNSフォロワー数（3月末時点）	8,682 アカウント	9,100 アカウント

【取組内容】

- ① スライダーなどを活用したホームページでの情報発信の充実
- ② イベント開催時の来訪者へのPR活動
- ③ ふるさと納税やイベント等を通じた関係人口増加への取組
- ④ SNS等を活用した市民参加型のまちの魅力の発信
- ⑤ シティプロモーション映画を活用した関係人口の創出



イベントにおいて幸手市をPR

施策3 教育環境の充実と学力の向上

安全で快適な学校教育環境を確保するため、老朽化した学校施設の改修や長寿命化を検討します。よりよい教育環境を整備するため、学校の統廃合を含めた小・中学校の適正配置の検討を行います。

児童・生徒が安心して学校に通うことができるように、地域、PTA及び警察と連携し、通学路の安全確保に努めるほか、いじめや不登校の問題に対して、早期発見、早期対応に努めるとともに、生活困窮、障がい、国籍などにより個別に対応が必要な子どもに対しては、幼稚園、保育所、小・中学校及び市の関係課で連携し、必要な支援を行います。

また、地場産食材である幸手産農産物を活用した安全な給食の運営に努めます。

さらに、学力向上を図るために、基礎・基本の指導の充実に加え、児童・生徒が自ら学び、自ら考える力を育成する教育を推進するとともに、時代の変化に応じた情報化社会に対応できる人材を育成するため、ICT（情報通信技術）教育に取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
市立中学校生徒のうち、実用英語技能検定を受験した生徒の割合	8.23 %	12.00 %
児童一人当たりのスクールガード数（3月末日現在）	0.25 人	0.28 人
いじめ解消率（3月末日現在）	79.20 %	100.00 %
主体的・対話的で深い学びの視点における授業改善の推進の達成度	3.96 ポイント	4.40 ポイント
さってアフタースクール参加人数	8,617 人/年	9,000 人/年

施策3 教育環境の充実と学力の向上

安全で快適な学校教育環境を確保するため、老朽化した学校施設の改修や長寿命化を検討します。よりよい教育環境を整備するため、学校の統廃合を含めた小・中学校の適正配置の検討を行います。

児童・生徒が安心して学校に通うことができるように、地域、PTA及び警察と連携し、通学路の安全確保に努めるほか、いじめや不登校の問題に対して、早期発見、早期対応に努めるとともに、生活困窮、障がい、国籍などにより個別に対応が必要な子どもに対しては、幼稚園、保育所、小・中学校及び市の関係課で連携し、必要な支援を行います。

また、地場産食材である幸手産農産物を活用した安全な給食の運営に努めます。

さらに、学力向上を図るために、基礎・基本の指導の充実に加え、児童・生徒が自ら学び、自ら考える力を育成する教育を推進するとともに、時代の変化に応じた情報化社会に対応できる人材を育成するため、ICT（情報通信技術）教育に取り組みます。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
市立中学校生徒のうち、実用英語技能検定を受験した生徒の割合	8.23 %	12.00 %
児童一人当たりのスクールガード数（3月末日現在）	0.25 人	0.28 人
いじめ解消率（3月末日現在）	79.20 %	100.00 %
主体的・対話的で深い学びの視点における授業改善の推進の達成度	3.96 ポイント	4.40 ポイント

【取組内容】

- ① 体育館への空調設置や校舎のLED化
- ② 将来的なまちづくりを見据え、「個別施設計画」等に基づき小・中学校の適正配置を検討
- ③ スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、相談員の配置などによる教育相談体制の充実
- ④ 小・中学校教育支援員による生活支援及び学習支援
- ⑤ 日本語指導員による学習支援
- ⑥ 就学困難な義務教育児童・生徒等の保護者への就学援助
- ⑦ 幸手産農産物を活用した安全で安心な学校給食の運営
- ⑧ 学校給食費の無償化
- ⑨ Society5.0を見据えたICT教育の推進
- ⑩ さってアフタースクールの実施
- ⑪ 幸手市統一学力調査の実施
- ⑫ 実用英語技能検定の取得支援

【取組内容】

- ① 体育館への空調設置や校舎のLED化
- ② 将来的なまちづくりを見据え、「個別施設計画」等に基づき小・中学校の適正配置を検討
- ③ スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、相談員の配置などによる教育相談体制の充実
- ④ 小・中学校教育支援員による生活支援及び学習支援
- ⑤ 日本語指導員による学習支援
- ⑥ 就学困難な義務教育児童・生徒等の保護者への就学援助
- ⑦ 幸手産農産物を活用した安全で安心な学校給食の運営
- ⑧ 学校給食費の無償化
- ⑨ Society5.0を見据えたICT教育の推進
- ⑩ 幸手市統一学力調査の実施
- ⑪ 実用英語技能検定の取得支援



令和7年度学校給食調理コンクール受賞献立



令和7年度学校給食調理コンクール受賞献立

基本目標 4 安心・快適に暮らすことができる、魅力的な地域をつくる

【基本的方向】

安全で安心して暮らすことができる環境を整備するため、防災・防犯体制の充実を推進します。

また、快適に暮らせるまちをつくるため、長期的視点に立ち、計画的な都市基盤整備を推進するとともに、市民ニーズなどを踏まえ、市内の公共交通の利便性の確保に努めます。

さらに、誰もが生涯を通じて健康で、いきいきと活動的に生活するための、生きがいづくりにつながる活動に対する支援をします。

【数値目標】

項目名	当初値	目標値
幸手市に住みやすいと思う市民の割合	78.4 % (令和4年度)	80.0 %

【関連するSDGs】



基本目標 4 安心・快適に暮らすことができる、魅力的な地域をつくる

【基本的方向】

安全で安心して暮らすことができる環境を整備するため、防災・防犯体制の充実を推進します。

また、快適に暮らせるまちをつくるため、長期的視点に立ち、計画的な都市基盤整備を推進するとともに、市民ニーズなどを踏まえ、市内の公共交通の利便性の確保に努めます。

さらに、誰もが生涯を通じて健康で、いきいきと活動的に生活するための、生きがいづくりにつながる活動に対する支援を行うほか、デジタル技術を活用し、誰もが利用しやすい、質の高い行政サービスを目指します。

【数値目標】

項目名	当初値	目標値
幸手市に住みやすいと思う市民の割合	78.4 % (令和4年度)	80.0 %

【関連するSDGs】



施策3 生涯を通じた健康と生きがいのづくりの支援

誰もがいつまでもいきいきと住み慣れた地域で健康に生活するために、自ら積極的に健康づくりに取り組む市民を増やすための取組を推進します。

また、人生百年時代を見越して、生涯学習、文化芸術活動、生涯スポーツ・レクリエーション及びコミュニティ活動などを通じて、いきいきと活動的に生活することを推進する取組を支援します。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
体育施設の利用率	40.0 %	50.0 %
高齢者健康体操グループ数（3月末時点）	34 グループ	43 グループ
認知症サポーター養成講座受講者数（平成21年度からの累計）	3,001 人	3,080 人
健康寿命（男性）（前年）	18.32 年	18.83 年
健康寿命（女性）（前年）	21.29 年	21.36 年
公民館の利用率	45.0 %	50.0 %

【取組内容】

- ① 特定健康診査・各種検診の実施
- ② 介護予防事業の充実
- ③ 生涯学習・文化芸術活動を通じてさまざまな世代が交流できる場の提供
- ④ コミュニティ活動、ボランティア活動の推進
- ⑤ 生涯スポーツ・レクリエーションを通じた健康づくり
- ⑥ シルバー人材センターへの支援を通じた高齢者の働く場や機会の拡充（再掲）

施策3 生涯を通じた健康と生きがいのづくりの支援

誰もがいつまでもいきいきと住み慣れた地域で健康に生活するために、自ら積極的に健康づくりに取り組む市民を増やすための取組を推進します。

また、人生百年時代を見越して、生涯学習、文化芸術活動、生涯スポーツ・レクリエーション及びコミュニティ活動などを通じて、いきいきと活動的に生活することを推進する取組を支援します。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
健康寿命（男性）（前年）	18.32 年	18.83 年
健康寿命（女性）（前年）	21.29 年	21.36 年
体育施設の利用率	40.0 %	50.0 %
高齢者健康体操グループ数（3月末時点）	34 グループ	43 グループ
認知症サポーター養成講座受講者数（平成21年度からの累計）	3,001 人	3,080 人
公民館の利用率	45.0 %	50.0 %

【取組内容】

- ① 特定健康診査・各種検診の実施
- ② 介護予防事業の充実
- ③ 生涯学習・文化芸術活動を通じてさまざまな世代が交流できる場の提供
- ④ コミュニティ活動、ボランティア活動の推進
- ⑤ 生涯スポーツ・レクリエーションを通じた健康づくり
- ⑥ シルバー人材センターへの支援を通じた高齢者の働く場や機会の拡充（再掲）

施策4 デジタル技術による質の高い行政サービスの提供

AIやRPA、オンライン申請、キャッシュレス決済などの導入により、窓口業務の効率化と利便性向上を図る施策です。さらに、行政データの利活用や住民向けアプリの活用を通じて、迅速かつ分かりやすい情報提供を実現し、誰もが利用しやすいサービス環境を整備します。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
公民館におけるスマートフォン教室の開催件数	20 件/年	20 件/年
電子申請可能手続きの種類（3月末時点）	25 件	50 件
コンビニ交付での証明書発行枚数	9,599 枚/年	16,000 枚/年

【取組内容】

- ① 書かない・待たない・回らない市役所の実現
- ② 市民一人ひとりに寄り添った行政サービスの提供
- ③ コンビニ交付の拡充・利用促進
- ④ AIチャットボットの導入
- ⑤ デジタルデバйд対策の推進
- ⑥ 自治会活動のデジタル化を支援

施策4 デジタル技術による質の高い行政サービスの提供

AIやRPA、オンライン申請、キャッシュレス決済などの導入により、窓口業務の効率化と利便性向上を図ります。さらに、行政データの利活用や住民向けアプリの活用を通じて、迅速かつ分かりやすい情報提供を実現し、誰もが利用しやすいサービス環境を整備します。

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	当初値	目標値
公民館におけるスマートフォン教室の開催件数	20 件/年	20 件/年
電子申請可能手続きの種類（3月末時点）	25 件	50 件
コンビニ交付での証明書発行枚数	9,599 枚/年	16,000 枚/年

【取組内容】

- ① 書かない・待たない・回らない市役所の実現
- ② 市民一人ひとりに寄り添った行政サービスの提供
- ③ コンビニ交付の拡充・利用促進
- ④ AIチャットボットの導入
- ⑤ デジタルデバйд対策の推進
- ⑥ 自治会活動のデジタル化を支援

参考資料

I 第3期総合戦略で設定した数値目標・KPI

当初値については、特段記載が無い場合は、令和6年度末時点の数値です。

令和11年度以降に目標値を定めている基本目標・KPIについては、参考目標値として記載しております。

基本目標	施策	項目名	(再掲)		参考目標値	
			当初値	目標値	目標値	目標年度
1 安定した雇用をつくる地域をつくる	(数値目標)	市内従業者数	17,692人	17,800人	18,500人	2032 (R14)
	1 新たな雇用の創出	市内企業数(法人市民税均等割納税義務者数)(3月末時点)	1,170社	1,230社		
		空き店舗活用数	3件/年	3件/年		
		2 多様な働き方への支援	障害者就労支援センターの支援による就労者数(3月末時点)	142人	220人	
		シルバー人材センター会員数(3月末時点)	419人	460人		
		ふるさとハローワーク幸手による就職あっせん件数	1,621件	1,700件		
		就労支援セミナー・相談会の実施回数(平成28年度からの累計)	105回	130回		
3 地域農業の推進	認定農業者数(3月末時点)	39経営体	40経営体			
	農地の利用集積面積(3月末時点)	227ha	260ha			
2 新しいひとの流れをつくる	(数値目標)	人口の社会増加数(令和7年4月からの累計)	0人	150人		
	1 幸手市の特性を活かした観光振興	権現堂堤年間観光客数(桜・あじさい・ひまわり・曼殊沙華・水仙まつり)	86.3万人	100.0万人		
		観光協会ホームページアクセス数	67万件	70万件		
		観光ガイド登録者数(3月末時点)	17人	25人		
	2 移住・定住の促進	移住・定住補助事業による移住者(平成27年度からの累計)	239人	480人		
	3 シティプロモーションの推進	市ホームページの年間アクセス件数	70万件	73万件		
		ふるさと納税寄附金額	5,000万円	15,000万円		
	SNSフォロワー数(3月末日現在)	8,682アカウント	9,100アカウント			

参考資料

I 第3期総合戦略で設定した数値目標・KPI

当初値については、特段記載が無い場合は、令和6年度末時点の数値です。

令和11年度以降に目標値を定めている基本目標・KPIについては、参考目標値として記載しております。

基本目標	施策	項目名	(再掲)		参考目標値	
			当初値	目標値	目標値	目標年度
1 安定した雇用をつくる地域をつくる	(数値目標)	市内従業者数	17,692人 (R04)	17,800人	18,500人	2032 (R14)
	1 新たな雇用の創出	市内企業数(法人市民税均等割納税義務者数)(3月末時点)	1,170社	1,230社		
		空き店舗活用数	3件/年	3件/年		
		2 多様な働き方への支援	障害者就労支援センターの支援による就労者数(3月末時点)	142人	220人	
		シルバー人材センター会員数(3月末時点)	419人	460人		
		ふるさとハローワーク幸手による就職あっせん件数	1,621件	1,700件		
		就労支援セミナー・相談会の実施回数(平成28年度からの累計)	105回	130回		
3 地域農業の推進	認定農業者数(3月末時点)	39経営体	40経営体			
	農地の利用集積面積(3月末時点)	227ha	260ha			
2 新しいひとの流れをつくる	(数値目標)	人口の社会増加数(令和8年1月からの累計)	0人	150人		
	1 幸手市の特性を活かした観光振興	権現堂堤年間観光客数(桜・あじさい・ひまわり・曼殊沙華・水仙まつり)	86.3万人	100.0万人		
		観光協会ホームページアクセス数	67万件	70万件		
		観光ガイド登録者数(3月末時点)	17人	25人		
	2 移住・定住の促進	転入者数(令和8年1月からの累計)	0人	5,850人		
	3 シティプロモーションの推進	市ホームページの年間アクセス件数	70万件	73万件		
		ふるさと納税寄附金額	5,000万円	15,000万円		
	SNSフォロワー数(3月末現在)	8,682アカウント	9,100アカウント			

基本目標	施策	(再掲)		参考目標値		
		項目名	当初値	目標値	目標値	目標年度
3 結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえる	(数値目標)	合計特殊出生率	0.89	1.24	1.25	2030 (R12)
	1 結婚から子育てまでの切れ目ない支援	子育てに関する相談件数(こども家庭センター・利用者支援事業)	5,632件	5,700件		
		SAITAMA出会いサポートセンター登録者数(3月末時点)	154人	260人		
	2 子育てしやすい環境の整備	保育所待機児童数(3月末日現在)	0人	0人		
		ファミリー・サポート・センターの提供会員数(3月末日現在)	120人	130人		
	3 教育環境の充実と学力の向上	市立中学校生徒のうち、実用英語技能検定(市内中学校を準会場としたものに限る)を受験した生徒の割合	8.23%	12.00%		
		児童一人当たりのスクールガード数(3月末日現在)	0.25人	0.28人		
いじめ解消率(3月末日現在)		79.20%	100.00%			
主体的・対話的で深い学びの視点における授業改善の推進の達成度		3.96ポイント	4.40ポイント			
		さってアフタースクール参加人数	8,617人	9,000人		
4 安心・快適に暮らすことができる、魅力的な地域をつくる	(数値目標)	幸手市に住みやすいと思う市民の割合	78.4% (R04)	80.0%		
	1 安全・安心に暮らせる環境の整備	時間雨量30mm以下の大雨時における床下浸水(店舗内浸水を含む)の発生件数	0件	0件以下		
		福祉避難所の指定箇所数	12箇所	15箇所		
		刑法犯認知件数	318件	310件以下		
		人身事故年間発生件数	128件	100件以下		
	2 快適に暮らせる都市基盤の整備	公園施設長寿命化計画における遊具整備率(3月末日時点)	68.1%	100.0%		
		幸手駅西口土地区画整理事業の仮換地指定進捗率(3月末日時点)	47.2%	77.1%	100.0%	2030 (R12)
		市の公共交通機関の満足度	8.1% (R04)	70.0%		
	3 生涯を通じた健康と生きがいづくりの支援	体育施設の利用率	40.0%	50.0%		
		高齢者健康体操グループ数(3月末日時点)	34グループ	43グループ		
		認知症サポーター養成講座受講者数(平成21年度からの累計)	3,001人	3,080人		
		健康寿命(男性)(前年)	18.32年	18.83年		
		健康寿命(女性)(前年)	21.29年	21.36年		
		公民館の利用率	45.0%	50.0%		
4 デジタル技術を活用した質の高い行政サービスの提供	公民館におけるスマートフォン教室の開催件数	20件	20件			
	電子申請可能手続きの種類(3月末日時点)	25件	50件			
		コンビニ交付での証明書発行枚数	9,599枚	16,000枚		

基本目標	施策	(再掲)		参考目標値		
		項目名	当初値	目標値	目標値	目標年度
3 結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえる	(数値目標)	合計特殊出生率	0.89	1.24	1.25	2030 (R12)
	1 結婚から子育てまでの切れ目ない支援	子育てに関する相談件数(こども家庭センター・利用者支援事業)	5,632件	5,700件		
		SAITAMA出会いサポートセンター登録者数(3月末時点)	154人	260人		
	2 子育てしやすい環境の整備	保育所待機児童数(3月末日現在)	0人	0人		
		ファミリー・サポート・センターの提供会員数(3月末日現在)	120人	130人		
	3 教育環境の充実と学力の向上	市立中学校生徒のうち、実用英語技能検定(市内中学校を準会場としたものに限る)を受験した生徒の割合	8.23%	12.00%		
		児童一人当たりのスクールガード数(3月末日現在)	0.25人	0.28人		
いじめ解消率(3月末日現在)		79.20%	100.00%			
主体的・対話的で深い学びの視点における授業改善の推進の達成度		3.96ポイント	4.40ポイント			
(数値目標)	幸手市に住みやすいと思う市民の割合	78.4% (R04)	80.0%			
4 安心・快適に暮らすことができる、魅力的な地域をつくる	1 安全・安心に暮らせる環境の整備	時間雨量30mm以下の大雨時における床下浸水(店舗内浸水を含む)の発生件数	0件	0件以下		
		福祉避難所の指定箇所数	12箇所	15箇所		
		刑法犯認知件数	318件	310件以下		
		人身事故年間発生件数	128件	100件以下		
	2 快適に暮らせる都市基盤の整備	公園施設長寿命化計画における遊具整備率(3月末日時点)	68.1%	100.0%		
幸手駅西口土地区画整理事業の仮換地指定進捗率(3月末日時点)		47.2%	77.1%	100.0%	2030 (R12)	
3 生涯を通じた健康と生きがいづくりの支援	市の公共交通機関の満足度	8.1% (R04)	70.0%			
	健康寿命(男性)(前年)	18.32年	18.83年			
	健康寿命(女性)(前年)	21.29年	21.36年			
	体育施設の利用率	40.0%	50.0%			
	高齢者健康体操グループ数(3月末日時点)	34グループ	43グループ			
		認知症サポーター養成講座受講者数(平成21年度からの累計)	3,001人	3,080人		
		公民館の利用率	45.0%	50.0%		
4 デジタル技術を活用した質の高い行政サービスの提供	公民館におけるスマートフォン教室の開催件数	20件	20件			
	電子申請可能手続きの種類(3月末日時点)	25件	50件			
		コンビニ交付での証明書発行枚数	9,599枚	16,000枚		